

横浜の学童保育あゆみ①						
年度 西暦	元号	公費の内訳				制度上の变化
		市費合計 [注1]	左項内市費 人件費合計	同1人分の 月額[注2]	前年比 上昇率	
1963 ～ 1969	38 44	586,320	510,000	15,000×17		71年度ま では、項目 別に細か く分けら れていた
		[注]65～69年は新規委託なし金額は69年度のもの。				
1970	45	586,320	510,000	15,000×17	0	
1971	46	640,000	561,000	16,500×17	10	施設賠償責任保険新設
1972	47	691,000	612,000	18,000×17	9.1	79,000 委託の「4条件」明示
1973	48	742,000	663,000	19,500×17	8.3	79,000 所管変更 民生局→市民局
1974	49	1,170,000	1,020,000	30,000×17	53.8	150,000
1975	50	1,510,000	1,360,000	40,000×17	33.3	150,000
1976	51	1,629,000	1,479,000	43,500×17	8	150,000
1977	52	1,894,000	1,734,000	51,000×17	17.2	160,000
1978	53	2,210,000	2,040,000	60,000×17	17.6	170,000 指導員社会保険加入
1979	54	2,373,000	2,193,000	64,500×17	7.5	180,000
1980	55	2,665,000	2,465,000	72,500×17	12.4	190,000 「退職記念品代」新設
1981	56	3,013,000	2,805,000	82,500×17	13.8	200,000 研修費(年額8千円)新設
1982	57	3,169,200	2,951,200	86,800×17	5.2	210,000 「学童保育検討委員会」設置←委員入る
1983	58	3,308,400	3,080,400	90,600×17	4.4	220,000 上記結論 両論併記
1984	59	3,372,800	3,134,800	92,200×17	1.8	230,000
1985	60	3,454,000	3,196,000	94,000×17	2	240,000
1986	61	3,533,900	3,275,900	96,350×17	2.5	250,000
1987	62	3,668,000	3,400,000	100,000×17	3.8	260,000

[注1] 1978～88(昭和53～63)年度は「社会保険料使用者負担分」を委託費の中に含まず(男女別で額が異なったため/88年度の場合「男+女」で310,973円)89年度以降は男女別等の区別がなくなり一律で委託費の中に含めている。但し、96年度から通勤定期代の額によってA・B・Cのランクに区分された(上表ではAランクの場合560,279円を掲げた)

[注2] 指導員手当の1人分の年間月数には「長期休業手当」を含む。96(平成8)年度から計算方法が変わり、1人分が「1日2時間15分×52日=144,165円」(表の*印)。2001(平成13)年度より年間115時間。時間計算になった。支出内容は長期休業中の長時間勤務を含め昨年と同様である。2002(平成14)年度から、長期学校休業日及び学校休業日の土曜日の超過勤務分として、一人年間207時間も含まれる」

[注3] 「運営管理費」32万円の他に施設賠償責任保険料15,000円が支払われている。

横浜の学童保育あゆみ①					
ヶ所数 合計	年間の 増加数	クラブ名	署名運動 など	学童保育総予算	予算上 の 箇所数
14	1	(64)・ひまわり・本大岡・愛泉・六浦・岡津、 ・吉田元町・瀬谷 ・上飯田クローバー			
18	4	・明神台・笹山たけのこ・大正つくしんぼう・くでん	71年2月横浜 連協結成		
20	2	・日吉南・いちよう団地			
22	2	・市が尾・細谷戸			
23	1	・十日市場			
26	3	・なかよし・屏風ヶ浦・大船ルーテル		4,403万	32
31	5	・ひかりヶ丘・竹山・日限山・瀬谷第二・汐見台		4,778万(8.7%)	32
40	9	・きつつき・青木たいよう・野庭・港南台・大曽根、 ・勝田・長津田・おどりば・いちよう第二	陳情署名 約38,000	7,139万(49.11%)	40
48	8	・南永田・野庭東・あおぞら・新吉田・北綱島、 ・そよかぜ・小雀つくしんぼう・上郷なかよし	陳情署名 約41,000	1億2,435万(74.19%)	55
57	9	・馬場・帷子・上中里・青葉台・南戸塚、 ・和泉たけのこ・南瀬谷・本郷台かぜの子・ドリーム	陳情署名 約55,000	1億5,889万(27.77%)	65
67	10	・中丸やまぼと・レインボー・磯子・みつばち・高田、 ・太尾・下田・山下・平戸台・中田	陳情署名 約84,000	1億7,869万(12.5%)	65
73	6	・柏尾のびのび・藤棚台・どんぐり・篠原・左近山、 ・戸塚	陳情署名 約130,000	2億3,535万(31.7%)	75
78	5	・西柴・上飯田幼稚園・川和・滝頭、 ・小菅ヶ谷かぜの子	陳情署名 167,256	2億6,045万(10.7%)	80
86	8	・永谷・聖星・峯・ことぶき・駒林・あすなろ・並木、 ・長津田南	陳情署名 216,394	2億9,552万(13.5%)	85
89	3	・桂台・西寺尾とんぼ・中里	陳情署名 270,980	3億1,897万(7.9%)	90
96	7	・南台ひまわり・鶴見たけのこ・霧が丘、 ・若葉台上川井・すすき野あざみ野・わかば・のびっ	陳情署名 293,468	3億4,426万(8.0%)	95
102	6	・さくらんぼ・大空・あおぞら第二・菊名・クレヨン、 ・さつきが丘	陳情署名 332,071	3億7,444万(8.76%)	100
108	6	・鶴ヶ峰本宿(=わんぱく)・金沢愛児園・三ツ沢、 ・おどりば第二・潮田・緑鴨居	陳情署名 355,464	4億764万(8.87%)	105

横浜の学童保育あゆみ②

年度 西暦	平成	公費の内訳					管理 運営費	制度上の変化
		市費合計	左項内市費 人件費合計	同1人分の月額	前年比 上昇率			
1988	63	3,820,800	3,542,800	104,200×17	4.2	270,000		
1989	H1	4,404,200	3,736,600	109,900×17	5.5	280,000	有休保障6日分 健康診断費用新設	
1990	2	4,575,700	3,852,200	113,300×17	3.1	290,000	有休保障7日分	
1991	3	4,949,000	3,978,000	117,000×17	3.3	300,000	通勤費新設/有休保障8日分	
1992	4	5,525,100	4,460,800	131,200×17	12.1	305,000	有休保障9日分, 有休保障10日分	
1993	5	5,679,200	4,593,400	135,100×17	3	305,000	勤労者福祉共済加入「はまっ子」9月スタート	
1994	6	5,951,720	4,781,720	138,200×17.3	2.3	305,000	産休指導員代替手当新設	
1995	7	6,019,000	4,837,080	139,800×17.3	1.1	315,000		
1996	8	6,157,989	4,907,750	141,700× 16.3+α*	1.36	320,000		
1997	9	6,227,897	4,959,701	143,200× 16.3x2	1.14	320,000	「はまっ子」全校設置	
1998	10	6,341,359	5,022,650	144,600× 16.35+α*	1.27	320,000	法制化/「拡充型はまっ子」	
1999	11	6,386,000	5,065,566	146,000× 16.35+α	0.9	320,000	市民局チラシ作成、全校配布	
2000	12	6,386,000	5,065,566	146,000× 16.35+α	0	320,000		
2001	13	6,411,000	5,065,566	146,000× 16.35+α	0	320,000	①規模加算②20人未満クラブに対する経過措置③「放課後児童健全育成事業」	
2002	14	6,690,645	5,065,566	146,000× 16.35+α	0	320,000	土曜開設超動手新設	
2003	15	6,624,000	4,718,610	144,300× 16.36+α	▲1.2	329,200	市民局→事業本部	↑ あり方検討 ↓
		退職記念品代相当額が月額に組み入れられた(600円) 研修経費が管理運営費へ合算(9,200円)/「子どもたちの放課後懇話会」12月末まで実施。						
2004	16	6,580,000	4,627,200	192,800×12.0	▲1.0	329,200	賞与分4.2ヶ月を月額給与分に上乗せして支給/経過措置の継続 放課後キッズクラブ9校、9月スタート	
2005	17	6,577,000	4,627,200	192,800×12	0	312,000	管理運営費を5%削減/ 指導員交通費を3ヶ月定期代とする	
2006	18	4,511,500 (土曜開設・標準)	4,060,350	200,000×12 上記50%が市費	3.7	510,500	委託→補助へ/各種加算措置 補助指導員の増員/子ども青少年局発足	

【注4】 2001(平成13)年3月に横浜市学童保育事業実施要綱が廃止され「横浜市放課後児童健全育成事業」が4月1日より施行された。
 【注5】 1997(平成9)年度以降は通勤交通費の上限額を委託料に含む。2001(平成13)年度途中、通勤費の上限額を改定、4月から遡及支給した。

横浜の学童保育あゆみ②

ヶ所数 合計	年間の 増加数	クラブ名	署名運動 など	学童保育総予算	予算上 の 箇所数
118	7	・芹ヶ谷・吉原わんぱく・師岡・もぐら・中山、 ・東戸塚・福沢【閉所:上郷】	陳情署名 444,921	5億172万(12.48%)	115
124	7	・狩場・くぬぎ・太尾第二・西前・左近山第二、 ・本牧かもめ・寺尾【閉所:細谷戸】	陳情署名 421,827	5億6,437万(12.48%)	125
128	4	・栄かぜの子・三ツ境なかよし・ひばりの子・別所	陳情署名 460,677	6億3,478万(12.48%)	130
133	5	・神大寺・小机・西寺尾・アガベー・井土ヶ谷	陳情署名 476,918	7億3,751万(16.18%)	133
137	4	・下和泉・こまどり・第二どんぐり・六ッ川いるか	陳情署名 472,489	7億6,872万(4.23%)	138
139	3	・茅ヶ崎・平安・岸谷つくし 【閉所:いちよう第一】	陳情署名 486,700	8億2,880万(7.82%)	141
141	2	・子安・かもいけ	陳情署名 481,780	8億3,921万(1.25%)	141
145	4	・たんぼほ・わんぱくハウス・荏田東	陳情署名 473,799	8億6,057万(2.54%)	141
146	2	・中川西・下永谷とんぼ	陳情署名 474,018	9億2,240万(1.78%)	147
148	2	・北山田こども・さくらんぼ・神大寺森の家 【潮田閉所→しおかぜに移行】	請願署名 440,162	9億765万(5.47%)	147
155	7	・市沢・鶴見おひさま・西寺尾神之木 ・保土ヶ谷西部・山田子ども・多摩プラーザ・領家 ・みほ[10月委託]くぬぎ閉所⇒市沢に移行】	請願署名 431,534	9億4,976万(2.8%)	150
159	4	・東神奈川・杉田・フレンド(旭区)・すみれ・北山田、 ・仲町台、【閉所:本大岡、いずみ学童】	請願署名 428,115	9億9,008万(4.24%)	156
159	0	・みつる(鶴見区)【閉所:吉田元町、そよかぜ、 下末吉、保土ヶ谷小、くすの木】	請願署名 420,176	10億2,900万(3.93%)	159
160	1	・つばさ・センター北・スクラム・元気キッズ・鳩の森 【閉所:左近山第二】	市長へ署名 384,963	11億700万(7.6%)	161
166	6	・関内YMCA・岡村地区・スクールピコYMCA、 ・美しが丘・こどもの国・上倉田	請願署名 406,065	11億4,100万(3.1%)	166
171	5	・西神奈川・第2子安・ときわ・山内・からんこ山、 ・パレット・すずらん【閉所:野庭・スクールピコYM CA】	請願署名 410,260	12億297万(5.4%)	174
170	-1	【閉所:岡村】	請願署名 404,196	11億9,533万(-2.8%)	174
174	4	・さくら・桜岡・第2みつばち・中田東たいう、 ・アフタースクールはつねつ子・菊名子どもクラブⅡ、 ・あっとほーむクラブ 【閉所:大口台とんぼ、わかば、鳩の森】	請願署名 368,560	11億4,246万(-4.4%)	177

【注6】 1997(平成13)年度は委託費が前・後期の2回交付。新規委託認定の受付時期も4月と10月の2回のみ。2001(平成13)年度から新規委託認定の受付時期が4月の1回になる。

横浜の学童保育あゆみ③

年度 西暦	平成	市費合計 (土曜開設・標準規模)	公費の内訳			管理 運営費	制度上の変化
			左項内市費 人件費合計	同1人分の月額	前年比 上昇率		
2007	19	4,511,500 (土曜開設・標準)	4,060,350	200,000×12	0	510,500	特別な事由のある児童6年生まで対象となる(特別訪問調査)
2008	20	4,511,500 (土曜開設・標準)	4,060,350	200,000×12	0	510,500	年度途中の標準・小規模(同指導員雇用についても)適用区分の緩和措置
2009	21	4,511,500 (土曜開設・標準)	4,060,350	200,000×12	0	510,500	「分割に伴う開設準備補助金」 「長時間加算補助金の変更」 「規模変更に伴う激変緩和措置」
2010	22	4,516,000 (土曜開設・標準)	4,064,400	200,000×12	0	510,500	新規で①前施設の修繕費②補助指導員の健診費③単年度で感染症対策費【注8】
2011	23	4,585,000 (土曜開設・標準)	4,126,500	200,000×12	0	510,500	①施設賃料の増額(12万⇒15万/月) ②障害児受入加算の増額 ③事務手続きの簡素化
2012	24	4,544,000 (土曜開設・標準)	4,089,600	200,000×12	0	510,500	小規模クラブⅡ(15~19人)に非常勤指導員配置 子ども子育て関連3法成立
2013	25	4,571,500 (土曜開設・標準)	4,061,000	200,000×12	0	510,500	移転費用補助 分割に伴う開設準備補助の増額
2014	26	4,584,500 (土曜開設・標準)	4,074,000	200,000×12	0	510,500	移転先家賃上取増額(20万円) 障害児受入加算増額(40万2千円)
2015	27	4,851,000 (土曜開設・標準)	4,340,500	200,000×12	0	510,500	*新制度開始 補助基準規模変更(小1・2統合・大2・3新設) 障がい児加算増額(42万8千円) 長時間加算増額(29万2千円) 補助指導員単価増額@956
2016	28	5,489,000 (うち処遇改善充当費108,000円含)	4,870,500	209,000×12	1.045	510,500	*19時までの開所が条件となるに伴い、9,000円の上乗せ+処遇改善充当として108,000円(保護者負担なし)
2017	29	5,485,500 (うち処遇改善充当費108,000円含)	4,870,500	209,000×12	0	510,500	*障がい児加算の補助条件変更 *放課後児童支援員の勤続年数や研修実績等に応じた賃金改善(保護者負担なし) *耐震移転に伴う準備金の増額(半額⇒全額) *障がい児受入に係る制度変更
2018	30	5,466,000 (うち処遇改善充当費108,000円含)	4,847,500	209,000×12	0	510,500	*大規模クラブの補助拡大 *長時間開設加算補助の増額

[注7] 2006(平成18)年度より補助金となる。加算補助①障害児受け入れ②長時間③保護者負担減免④産休アルバイト雇用⑤施設賃借料が新設。

[注8] 2010(平成22)年度より補助費が4回交付。連絡帳配布打ちきり。交付文書のデータ化

横浜の学童保育あゆみ③

ヶ所数 合計	年間の増加数	クラブ名	署名運動 など	学童保育総予算(前年度比)	予算上の 箇所数
179	4	・陽だまり・YMCA東神奈川・ピコリーノ、 ・品濃町放課後児童クラブ【閉所:北山田すみれ】	請願署名 401,468	11億4,161万(0.8%)	177
189	11	〔補助〕しんつる・おかえり・ほびんず・ポニョポニョ、 ・大曽根よいこ・つばき駅前・きたつな第2・城郷、 ・ピッピーとなりのいえ・YMCA東とつか、 ・児童クラブOKUZEN【補助打ち切り:下永谷】	請願署名 385,315	11億6,900万(2.3%)	184
196	7	・平安第2・第2鶴見だけこのこ・第2ちびっこ・やつはし、 ・新杉田・大豆戸よいこ・下永谷【補助復活】	請願署名 375,464	12億9,967万(2.6%)	197
198	4	・上大岡・第3子安とんぼ、 ・つなしまみらい広場「ひかり」・学童モモ 【閉所:港南台学童・きたつな学童Ⅱ】	請願署名 373,185	13億6,800万(5.5%)	202
202	4	・第1みつばち・くでんくぬぎの家・第2戸塚 ・藤が丘ひまわり(学)法人岩崎学園横浜 【補助打ち切り:若葉台上川井⇒閉所】	請願署名 346,354	14億1,061万(3%)	203
208	6	・かわせみ・アメリカ山ガーデンアカデミー、 ・つばさ子どもクラブ・きらら子どもクラブ、 ・つなしまみらい広場ガーデン・ピコリーノ東山田	請願署名 331,524	15億1,900万(8%)	210
215	7	・中田南さんさん・あいしらね・もえぎ野moi moi ・市場けやき・第二おかえり・横浜ガーデンアカデミー ・やつはし第2・パレット第2いるか・もあなの家 【閉所:津田・若葉Ⅱ】	請願署名 324,000	15億8,848万(4.6%)	218
222	7	・なないろ・桜木町大志・六ツ川みどりアフタースクール ・光の園・もみの木・みどりがくどう・キューティーズ ・信濃町第2・立場はればれ・スカイマスター 【閉所:ぼにょぼにょ・土日市場・センター北】	請願署名 318,367	18億9,281万(19.2%)	224
228	6	・金沢放課後児童クラブ・瀬谷学童クラブRYO ・コスミックジュニア・森の台キッズルーム	請願署名 318,367	23億6,514万(25%)	233
231	3	・大綱よいこ②・大曽根よいこ② 【閉所:くれよん、下永谷、ひかりが丘、キューティーズ】	請願署名 会長以下 307,118	26億671万(10.2%)	231
228	3	・第2ひばりの子・第2こまどり ・宮ノ前そよかぜ・つなしまみらい広場「ひかり」ソレイユ ・大豆戸すこやか	請願署名 会長以下 289,384	27億2,676万(4.6%)	228

[注9] 標準規模対象人数21~40名に変更。大規模が41名~3段階の規模に。前年の大規模が36~40名の標準になった場合、1年間のみ80万補助。認定資格研修が始まる予定。

[注10] 1支援単位あたりに障がい児1人~4人で1,748,000、5人以上で3,496,000

[注11] 1支援単位あたりでの障がい児利用見込みで1,796,000、3人以上で3,592,000